



資料展示「あのときのベストセラー～令和編～」 を実施しています！

【令和のベストセラー本が大集合！】

県立図書館では、戦後80年を迎える年の企画展示として、令和7年1月より当館の89万冊の蔵書の中から昭和・平成・令和のそれぞれの時代の人々が求めた“あのときのベストセラー”を紹介しています。

今回は最終回として、令和（2019（令和元）年～2024（令和6）年）にベストセラーとなった本及び主要文学賞を受賞した本の展示・貸出しを実施しています。

1 期 間

令和7年9月30日（火）～12月27日（土）

2 内 容

2019（令和元）年～2024（令和6）年の間にベストセラーとなった本及び主要文学賞を受賞した本の展示・貸出し

3 展 示 資 料

図書 290 冊

【例】

『私は私のままで生きることにした』キムスヒョン／著、吉川南／訳、ワニブックス、2019

人と比べて何になる？あなたの人生で一番大切にしなければいけないのはあなた自身。ふんわりしたイラストと力強い言葉で、誰のまねもせず、誰もうらやまず、自分を認めて愛する方法を伝える。韓国のベストセラーを邦訳。

『旅する練習』乗代雄介／著、講談社、2021

中学入学を前にしたサッカー少女と、小説家の叔父。ふたりは、コロナ禍で予定がなくなった2020年の春休み、利根川沿いに徒歩で千葉の我孫子から鹿島アントラーズの本拠地を目指す旅に出て…。第34回三島由紀夫賞受賞作品。

『ちょっと不運なほうが生活は楽しい』田中卓志／著、新潮社、2023

どこかの優しい誰かが読んでくれたら…。人気芸人「アンガールズ」田中卓志が、クスリと笑えて妙に共感できる悲喜こもごもの日常を綴った初エッセイ集。第14回広島本大賞受賞作品。

